



交通安全ニュース



交通事故防止にも、セルフディフェンスを！

セルフディフェンス①

早めのライト点灯と上下ライトの切り替え

走行時の基本は、上向き(ハイビーム)です



日暮れから夜間に潜む危険を早期に発見し、交通事故防止を図るために、早めのライト点灯やハイビームは効果的です！



対向車両などとすれ違う時には、下向き(照射範囲は40m)で。



セルフディフェンス②

反射材用品の活用



《 夜間、ドライバーから歩行者が見える距離 》

ヘッドライト
下向き

黒っぽい服装
約26m

明るい色の服装
約38m

反射材着用
約57m以上

外出時は、明るい服装を心掛け、反射材を身に付けましょう。

反射材を取り付ける位置は、ライトの照射上、腰より下方が有効です。また、「揺れる」、「動く」箇所に取り付け、周囲に自分の存在を知らせ(見せ)ましょう。



かかと等の足



側面
(横断時に
よく目立つ)



動くもの

平成29年秋の全国交通安全運動が始まります

スローガン **見ることも 見られることも 事故防止**

実施期間 9月21日(木)から9月30日(土)までの10日間

- 運動重点
- 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
 - 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
 - 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - 飲酒運転の根絶
 - 歩行中・運転中のスマホ等使用の根絶
 - 二輪車の交通事故防止
 - 自転車の安全な利用の促進